学校番号	４１６

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新詳地理B（帝国書院）　地歴高等地図（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、世界の中の日本を常に意識し、系統別に地理的事象を学習する。
・常に地図帳を活用し、地名の位置確認を徹底的に行う。
・学習指導要領の改訂を受けて、主体的・対話的で深い知識を獲得するため、自ら学んだうえでのグループ学習を採り入れる。
・ICT を積極的に活用し、生徒の理解を深める。
・今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。

2　学習の到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育む。

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえ考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる社会人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	さまざまな地図と地理的技能	・現代世界の地図 ・地図の種類とその利用 ・地理情報の地図化 ・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ 	a：地図について，さまざまな時代や現代のさまざまな地図の読図，地理情報の地図化などの活動を通して，現代世界の地図に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている 世界の気候の特徴に関心を持つことができる。 b：各時代の人々の世界観，身近な地図の有用性を考察し，その過程や結果を適切に表現している。 世界の地形、気候、特徴について情報を集めまとめることができる。 c：現代の地図に関する諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択し，これを基に，現代世界の地図について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：人々の世界観の変化や現代の地図のしくみと有用性を理解し，その知識を身につけている。	定期テスト ワークシート

2	現代世界の系統地理的考察	環境問題 産業の発達と変化 世界の農林水産業 食料問題 世界のエネルギー・鉱産資源	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a: 環境問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている エネルギー・鉱産資源に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b: 食料需給のかたよりや不安定さに関する考察を基に，発展途上国や先進国，日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 c: 食料の生産と消費の地域的かたよりに関する統計や事例などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，食料問題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: エネルギー資源・鉱産資源の種類と利用法，分布や動向などについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	定期テスト ワークシート
3	現代世界の系統地理的考察	資源・エネルギー問題 世界の工業 第3次産業 世界を結ぶ交通・通信 現代世界の貿易と経済圏	○	 ○ ○ ○	 ○	 ○ ○	a: 資源・エネルギー問題について，生産・消費の不均衡とさまざまな資源・エネルギー問題の動向に関する考察を基に，世界と日本の資源・エネルギーの利用に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b: 世界の工業について，工業の発達や立地の考え方や世界や日本の工業の現状とその背景，グローバル化が進むなかでの課題を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 商業やサービス業，観光業の動向に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，第3次産業の動向について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 通や通信の発達の状況や一体化の進行，地域差の拡大について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	定期テスト ワークシート

※ 表中の観点について

a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c: 資料活用の技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。